

平成30年度 東京都立板橋高等学校 学校経営報告

東京都立板橋高等学校長
川口 元三

数値目標の達成状況

30年度の数値目標		30年度結果						過去のデータ(29年度)					
1	規範意識の向上 ・遅刻者6.0%以下	1学年 3.0% 達成 2学年 6.1% 未達成 3学年 7.3% 未達成						1学年 2.4% 達成 2学年 7.6% 未達成 3学年 4.5% 達成					
	●学校評価アンケート (マナーやルールの遵守) (地域の否定的評価) 20%未満	20.0% 未達成						9.7% 達成					
2	学習習慣の確立 －自主学习時間の伸長－ ●自主学习時間 1日1時間以上 70%		1学期(6月)	1学期(7月)	2学期(10月)	2学期(12月)	学期(3月)		1学期(7月)	2学期(10月)	2学期(12月)	学期(3月)	
		1年	49.8%	54.6%	57.6%	64.3%	64.8%	1年	63.0%	58.0%	62.0%	59.9%	
		2年	55.5%	54.7%	62.9%	61.5%	56.0%	2年	58.6%	61.0%	61.5%	62.4%	
		3年	68.7	66.7%	53.6%	48.6%	—	3年	65.4%	56.2%	50.3%	—	
いま一歩である。また、3学年は進路が決まると自主学习時間が減少してしまう。													
3	学力向上 ・学力スタンダード 学力調査得点 50%以上	第1回学力調査											
			国語	数学	英語	地理歴史・公民、理科							
		1学年	国総59.9	数I51.0	英I54.2	世史59.8	現社57.1	化基52.8					
		2学年	現文58.1	数II41.1	英II45.0	日B73.7	生基65.9	物基54.3	地基59.4				
		3学年	現文63.3			日B50.7	政経60.2						
		第2回学力調査											
		国語	数学	英語	地理歴史・公民、理科								
	1学年	国総53.5	数I55.7	英I55.7	世史60.0	現社40.8	化基38.6						
	2学年	現B61.5	数II49.1	英II47.4	日B72.7	生基51.3	物基59.2	地基73.9					
	3学年				日B38.7	政経56.8							
第1回、第2回とも得点50%以上の科目が国語、地歴公民、理科に多い。													
体力向上 ・全学年前年度を上回る	平成30年度東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査												
		握力	比較し	長距離	反復	散歩	歩行	50走	立幅	小走り	体力		
		kg	回	cm	回	秒	回	秒	cm	m	点		
	1学年	男	37.0	31.3	47.8	55.2	412.6	—	7.4	216.7	25.9	49.4	
		女	25.5	26.1	46.2	48.8	303.4	—	8.8	172.8	14.7	51.8	
	2学年	男	40.1	31.6	49.9	56.7	395.4	—	7.3	223.0	26.1	52.7	
		女	26.4	25.9	46.0	48.0	313.7	—	8.7	171.3	13.6	50.6	
	3学年	男	42.7	32.5	54.1	58.1	400.5	—	7.3	228.1	25.8	55.0	
		女	26.9	24.7	48.9	47.2	314.9	—	8.9	174.9	14.7	51.2	
	前年度との比較 48項目中17項目で前年度を上回ったが、校舎改築で体育施設が十分に使用できない影響からか、その伸びは鈍化している。体力合計点においては、2学年、3学年の男女とも前年度を上回り、体力向上の取り組み成果が表れている。 都平均との比較 体力総合点で比較すると、1年生の男女、2年生の男女、3年生の男子において、ほぼ等しいか上回っており体力水準は高い。しかし、どの学年においても「持久走」が低い傾向にあり、グラウンドが使用できない影響が表れている。												
●授業評価(肯定的評価)75%	79.7% 達成						74.5%						

	・長期休業日中の講習延べ300時間以上	夏期休業日 95 時間	夏期休業日 245 時間																																								
	・土曜講習参加者延べ2000名以上	2511 名 達成	3035 名 達成																																								
	・本校図書館の貸出冊数3,000冊以上	5078 冊 達成	4325 冊 達成																																								
	・英検、漢検の準2級以上合格者数30名以上	英検：不明（学校として実施せず） 漢検 10 名	英検 6 名、漢検 0																																								
	・ニュース時事能力検定実施	3回実施。受検者 13 名。	受検者なし。																																								
4	基礎的・汎用的能力の育成 ・自習室開室 180 日以上	1 学年 50 日(展開教室 401) 2 学年 50 日(展開教室 301) 3 学年 121 日(3 年 1 組教室) 達成	1 学年 50 日(講義室 3) 2 学年 50 日(2 年 7 組教室) 3 学年 190 日(会議室) 達成																																								
	・拡大学年会 各学期 1 回	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 学期</th> <th>2 学期</th> <th>3 学期</th> <th>開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学年</td> <td>6/12</td> <td>11/12</td> <td></td> <td>2 回</td> </tr> <tr> <td>2 学年</td> <td>6/13</td> <td>11/13</td> <td></td> <td>2 回</td> </tr> <tr> <td>3 学年</td> <td>6/14</td> <td>11/14</td> <td>—</td> <td>2 回</td> </tr> </tbody> </table> 1, 2 学年は 3 学期に実施できず		1 学期	2 学期	3 学期	開催回数	1 学年	6/12	11/12		2 回	2 学年	6/13	11/13		2 回	3 学年	6/14	11/14	—	2 回	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 学期</th> <th>2 学期</th> <th>3 学期</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学年</td> <td>6/14</td> <td>11/10</td> <td>2/7</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td>2 学年</td> <td>6/15</td> <td>11/11</td> <td>2/6</td> <td>3 回</td> </tr> <tr> <td>3 学年</td> <td>6/16</td> <td>11/8</td> <td>—</td> <td>2 回</td> </tr> </tbody> </table>		1 学期	2 学期	3 学期	回数	1 学年	6/14	11/10	2/7	3 回	2 学年	6/15	11/11	2/6	3 回	3 学年	6/16	11/8	—	2 回
	1 学期	2 学期	3 学期	開催回数																																							
1 学年	6/12	11/12		2 回																																							
2 学年	6/13	11/13		2 回																																							
3 学年	6/14	11/14	—	2 回																																							
	1 学期	2 学期	3 学期	回数																																							
1 学年	6/14	11/10	2/7	3 回																																							
2 学年	6/15	11/11	2/6	3 回																																							
3 学年	6/16	11/8	—	2 回																																							
5	自治意識、帰属意識の向上 ●1 学年生徒部活動加入率 85%	4 月 59.6%	4 月 81.0% 9 月、1 月調査実施せず																																								
	・体罰ゼロ	体罰ゼロ	不適切な指導あり																																								
6	キャリア教育 ・同窓会と連携した講演会 1 回	なし	3/23 開催																																								
	・自立支援教育プログラム の活用 1、2 学年 6 回	1 学年 4 回、2 学年 3 回 達成	1 学年 4 回、2 学年 2 回 達成																																								
7	生徒一人一人に応じた適切な進路指導 ●4 年制大学進学率 40%	32%	44.6% 達成																																								
	●日東駒専以上 現役合格 10 名	12 名 達成	11 名 達成																																								
	・国公立大学 1 名 合格	0 名	0 名																																								
	・就職内定率 100%	100% 達成	100% 達成																																								
	・進路未決定者 10%未満	17.63%	8.43% 達成																																								
8	安全教育の推進 (災害安全) ・上級救命講習 1 学年生徒全員受講	「東京消防庁及び東京防災救急協会と連携した上級救命講習実施校」として 3/18 実施 1 学年生徒全員受講 達成	「東京消防庁及び東京防災救急協会と連携した上級救命講習実施校」として 12/20 実施 1 学年生徒全員受講 「合同防災キャンプ 2017」(8/23																																								

			～8/25)2 学年生徒各2名参加、「防災士」の資格取得。
9	人材育成 校内研修(講師招聘)1回実施	「これからの環境変化に対応した指導のポイントについて」講師株式会社バネッコーポレーション柳田一輝氏。	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路検討会と出願指導について」講師株式会社バネッコーポレーション小宮早紀子氏 11/27 ・「69 期生 3 年間の模試の分析・反省、30 年度の模試計画について」講師株式会社バネッコーポレーション小宮早紀子氏 12/20 ・「日東駒専の合格を伸ばす進路指導について」講師都立小岩高校進路部主任金子正勝氏 1/15 達成
	研究授業・研究協議 各教科1回実施	英語科6回、保健体育科4回実施。	・実施 達成
	大学入試問題研究及び生徒対象講習	実施 達成	・実施 達成
	授業見学 授業見合おう月間(6月、11月)	若手教員育成研修研究授業の参観が多かった。	4時間以上 14.6% 1～3時間 26.8% 他に、若手教員育成研修研究授業の参観があった。
10	教育公務員 ・服務事故防止研修4回 ・服務事故ゼロの継続	服務事故防止研修4回 達成 服務事故ゼロ	服務事故防止研修4回 服務事故ゼロ 未達成
11	募集・広報活動の充実 ・塾訪問100塾以上	43塾 年度途中で、一人一か所に変更した。	185塾 達成
	・中進対1.0倍以上	1.37倍(男子1.19倍、女子1.56倍) 達成	1.32倍(男子1.25倍、女子1.41倍)
	●入学選抜1次最終応募倍率 1.35	1.40倍(男子1.34倍、女子1.45倍) 達成	1.40倍(男子1.39倍、女子1.42倍)
	・入試対策講座 5教科2回	5教科2回 達成 受講者129名	5教科2回 受講者130名
	・文化祭(一般公開)来場者数 1,300名以上	2336名 達成	1621名 達成
12	・ホームページ更新 200回以上	223回 達成	288回 達成

1 今年度の取組と自己評価 自己評価基準: [A] 十分に達成できた [B] 概ね達成できた [C] あまり達成できなかった

(1)教育活動への取組	(2)重点目標への取組	自己評価
1 組織的・学校経営の推進	[B]	

<ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議 戦略検討 ・主幹会議 主幹教諭 6名の連携・協力、学校改革牽引。 ・主幹教諭・主任教諭による「モデルマネジメント」 ・教職員の情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議(39回) 学期ごとの振り返り等、PDC Aサイクルに基づくマネジメントシステム、戦略検討。 ・主幹会議(23回) 連携・協力。学力向上推進校としての取組を牽引。当面する組織的課題の検討・解決。身だしなみ指導、校内規定等。 ・教職員の情報の共有化 打合せ、臨時の会議など。 ・中部学校経営支援センター学力向上推進校、東京消防庁及び東京防災救急協会と連携した上級救命講習実施校。
<p>2 規範意識の向上 【B】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「身に付けさせる規律・規範の全体計画」に基づいて、遅刻防止、身だしなみ指導の徹底を図る。 ・挨拶の励行、マナー尊重の精神の育成。 ・朝、昼休みの正門等における指導、授業時巡回を全教員当番制で行う。 ・セーフティ教室、薬物乱用防止教室の充実(危険ドラッグ等)。 ・情報モラル教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒部及び学年で遅刻防止指導を行った。【数値目標 1】 生徒部と学年の連携が十分ではないところがあり、数値目標は達成できなかった。 ・挨拶 文化・スポーツ等特別推薦実施種目の部の生徒等はきちんとしているが、全体としては不十分。 ・セーフティ教室(1学年は薬物乱用防止) 1 学年 7/18、2 学年 7/17、3 学年 12/19 ・交通安全 自転車の傘さし走行禁止に係る指導、雨天時レインコート着用指導の徹底。生徒・保護者への説明を丁寧に行う。
<p>3 学習習慣の確立ー自主学习時間の伸長ー 【B】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・学習と生活の時間の自己管理(記録)指導 ・定期的な自主学习時間調査 ・生徒による授業評価の実施及び結果分析年 2 回 ・教育課程の評価・検証・改善 ・授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と生活の自己管理(記録)指導 ・自主学习時間調査 教務部主導で定期考査ごとに実施・集計、結果を教室掲示。 【数値目標 2】 自主学习時間伸長、引き続き更なる伸長を図る。特に 3 学年、進路内定者の意識向上が課題。 ・「生徒による授業評価」学力向上推進校事業として、教育実践研究オフィス F の分析、改善提案、校内研修実施により充実・強化、授業改善につなげることができた。
<p>4 学力向上、体力向上 【B】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・学力スタンダード作成及び組織的・効果的な指導 ・教科会の充実を図る 【自主学习時間の伸長】 ・土曜講習の充実 ・読書活動の推進、言語活動の充実ー書評合戦等 ・ICT 機器等を活用した効果的な教科指導の工夫 ・英語教育の改善・充実ーJET、ALT の活用ー ・オリンピック・パラリンピック教育の推進 5 つの資質の育成(全教科合計、年 35 単位時間) ・主権者教育の推進(地歴・公民科等) ・体力・運動能力の向上 体力テスト実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の共通問題化 現代文、コミュニケーション英語 I、II 実施。 ・教科会 教科マネジメント充実。 ・教科主任会 月 1 回定例開催は実現できなかった。 ・学力スタンダード学力調査 【数値目標 3】 得点 50% 以上達成は第 1 回 14 科目/16 科目、第 2 回 10 科目/15 科目。 ・土曜講習 12 回開催。 ・読書指導に係る状況 司書、司書教諭連携による指導。 ・教員相互の授業見学、ICT 機器の活用の拡大、充実。 ・JET の活用 国際交流講演会等実施。ALT の活用 一定程度図った。 ・オリンピック・パラリンピック教育 3 年小論文演習の授業で、SDGs に関する朝日新聞出前授業を実施した。2 年生全員を対象に教育支援プログラム「グローバルマナーとおもてなしの心」を実

	<p>施した。1年生1クラスを対象に教育支援プログラム「英語でボランティアガイド」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主権者教育 3月末までに地歴・公民科の教員により実施した。 ・体力テスト実施 【数値目標3】
5 系統的なキャリア教育の推進 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒情報の共有化 ・一人一人の生徒の学習状況把握(入学から卒業までの推移データの整備・活用)ときめ細やかな対応。 ・上級学校説明会等への学年積極的参加、情報収集・活用。 ・ガイダンス、個別相談の充実。 ・同窓会との連携 講演会 社会で活躍する/してきた卒業生を講師として招聘。 ・「都立高校生の社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標4】 拡大学年会開催等により、生徒情報の共有化進展。 ・模試の結果分析会、3学年センター試験受験クラス生徒の目線合せを実施。 ・上級学校の説明会 進路指導部担当が一覧作成、周知。3学年担任が参加して情報を収集し、学年で活用。 ・ガイダンス、個別相談 充実。三者面談 3学年担任7名全員が夏季休業日等に三者面談を行うとともに、きめ細やかな進路指導を行った。 ・同窓会との連携 講演会 実施せず【数値目標6】 ・「社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」 「右脳・左脳ワークショップ」(6/6)、「勤労観・職業観ワークショップ」(6/13)、「ライフプランニング授業」(10/17)、「トーキョー学生図鑑のオープンキャンパス」(11/14)、「社会人アドバイザー交流会」(2/6)、「社長のなり方」(3/19)
6 基礎的・汎用的能力の育成 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム活動、総合的な学習の時間等を通じて、在り方生き方を考えさせるとともに、「基礎的・汎用的能力」を身に付ける意義を繰り返し理解させる。 ・語彙・読解力検定(1、2学年) ・週末課題(1、2学年) ・分野別指導、志望理由書作成指導、小論文指導(3学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・汎用的能力の育成 学年、担任を中心に取り組んだ。週末課題の提出状況は概ね良好。 ・語彙・読解力検定 【数値目標4】2学年生徒の意識、取組は二極化し、1年次に引き続き3級を受検するに当たって、モチベーションが上がらない生徒もいた。 ・志望理由書作成指導、小論文指導(3学年) 国語科、3学年担任等が懇切丁寧に個別対応・指導を行った。2学年も3学期に志望理由書作成指導を2回行った。
7 生徒一人一人に応じた適切な進路指導 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・第一志望の実現 ・進路情報の提供 ・望ましい勤労観・職業観の育成 ・学校外の学修—保育園実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標7】 立教、法政、中央等に現役合格。 ・「進路の手引き」発行。 ・学習合宿 平成30年7月26日～29日。 ・学校外の学修 保育園実習5日間、3学年3名実施。 「子どもの発達と保育」(1単位)3学年1名、「家庭総合」(1単位)3学年2名認定。
8 自治意識、帰属意識の向上 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動、生徒会活動及び学校行事の充実・振興「平成29年度体力気力鍛錬道場(部活動推進指定校)」としての取組 ・部活動推進と体力向上 ・体罰禁止・根絶 ・定期的な部活動調査(部員数、活動状況、活動の成果等) ・地域行事への積極的参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標5】 ・部活動 主な成果 女子バスケットボール部：関東大会予選都ベスト56、関東新人大会都予選ベスト56。陸上競技部：関東選手権大会10位(女子円盤投)、都大会4位(女子三段跳)、都新人大会7位(男子円盤投)、7位(女子400m)、7位(女子800m)。野球部：夏季東東京大会4回戦進出(ベスト32)、毎週月曜日の地域清掃、板橋警察署と連携した交通安全運動。バドミントン部：都選手権大会ベスト16。軽音楽部：秋の都大会決勝・審査員特別賞、吹奏楽部都アンサンブルコンテスト 管楽三重奏銅賞、特別養護老人

	ホーム「千川の杜」で演奏活動（6月、11月）。課題：加入率の更なる向上。
9 健康・安全、社会貢献 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・(保健)健康づくりの推進 アレルギー疾患対策 ・(美化)校内・外の環境美化とリサイクル意識の育成 ・不登校・中途退学の防止 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応 「いじめ対策委員会」を核とした取組を行う。 アンケートを年間3回以上実施する。 教育相談体制の強化 ・防災教育の推進 「自助」「共助」の精神に基づいて適切に行動できるようにさせる。 ・奉仕体験活動の推進 ・PTA との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に関する委員会8回開催。 ・食物アレルギー緊急時対応に係る研修（9/26）「エピペン」の使い方確認。 ・保健庶務部 ゴミの分別に努力 ・いじめ対策委員会 いじめアンケート：年3回実施。 いじめの未然防止、早期発見・早期対応に取り組み、成果を上げた。 ・生徒部研修会(11/9)：文化祭について ・養護教諭と担任の連携による教育相談体制。 ・4月にスクールカウンセラーが、「学校生活アンケート」を1年生に実施し、1年生全員と面談。 ・10月に東京都教育委員会作成「高校生の意識調査」を全生徒に実施。 ・防災教育 【数値目標8】「東京消防庁及び東京防災救急協会と連携した上級救命講習実施校」1学年。宿泊防災訓練(一泊二日)1学年、板橋警察署、板橋消防署及び小茂根出張所、東京都水道局と連携。 ・地域清掃 3回(PTA との連携)。硬式野球部が早朝清掃(近隣住民から評価)及び交通安全運動協力(4/10、板橋警察署と連携)。 ・板高シンポジウム第1回「新校舎」(10/31)生徒12名教員6名保護者8名計26名、第2回「行事」(1/15)生徒15名教員7名保護者7名計29名
10 計画的、組織的な人材育成 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・OJT、校内研修の充実 ・教員の授業力の向上 ・「平成29年度教職大学院連携協力校」としての取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT 教科、分掌、学年 意図的・計画的・組織的に実施。授業研究 研究協議の充実。 ・校内研修 【数値目標9】「生徒による授業評価アンケート集計結果分析報告」は個別の結果を示すことで授業改善に係る意識向上につながった。 ・教員相互の授業参観 「授業見合おう月間」の活用 【数値目標9】教員の意識、取組に隔たりがある。課題 授業研究の充実。
11 教員の使命感・倫理観、服務規律の遵守。 【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・服務規律の徹底 ・校内規定の整備 ・情報資産の管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標10】引き続き研修を行い、自覚を促す。 ・服務規律徹底、個人情報紛失防止の徹底。 「学力検査採点の誤り」ゼロの継続。 ・クリーンデスクの励行 「4S」(整理・整頓・清掃・清潔)の推進 一部達成できていない。 ・教務部、生徒部 「校内規定集」見直し、整備。課題 内容の点検、充実。
12 募集・広報活動の充実 【A】	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の特色のより一層の明確化 ・入学者選抜(文化・スポーツ等特別推薦を含む)の評価・検証及び改善 ・情報発信の工夫・改善(「学校案内」の刷新、ホームページの充実、適時適切な更新)。 ・家庭・地域等の本校に対する要望の把握、対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標11】全て達成。 ・学校の特色の明確化を図り、積極的に発信するとともに推薦に基づく選抜の作文、集団討論のテーマを検討、決定する際にも意識した。 ・「学校案内」刷新、ホームページの適時適切な更新等好評である。さらなる充実を図る。
13 教育環境の改善・充実 【B】	

<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な教育環境の改善、地域の期待に応える学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・【数値目標 12】課題 予算、「標準」との兼ね合い。 ・校内の改築委員会が精力的に打合せ、活動し、情報を伝え、課題を明確にして意見集約を行ってきた。
14 予算、施設・設備、接遇等【A】	
<ul style="list-style-type: none"> ・適正な予算執行と更なる経営参画 ・教育環境の更なる整備、充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・自律経営推進予算の一般需用費センター執行割合は62.6%となり、数値目標を達成した。 ・施設・設備の定期点検、教育環境の整備を行った。 ・接遇、入学者選抜業務等 適切に行った。
15 地域連携【B】	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域に開かれた学校づくり ・地域の公共機関との連携による生徒の健全育成 ・日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設開放 テニスコート3日、延べ17団体延べ107人利用。 ・公開講座「日本古代史を学ぶー古代の皇位（王位）継承」（平成30年10月27日～平成31年2月2日、5回計15時間31名受講） ・教科「人間と社会」等、地域との連携強化。

2 次年度以降の課題と対応策

次年度以降の課題	対応策
規範意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を守る／守らせる 「遅刻ゼロ」生徒部と学年の連携による指導強化、挨拶の充実・指導の強化。 ・服装・身だしなみ指導 全教員による指導の徹底。制服改造厳禁の徹底（スカート丈を替えさせない）、頭髪・化粧に関する指導等 ・SNS板橋高校ルールの徹底。
学習時間の伸長	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年 朝学習、放課後学習。 ・教務部 定期考査ごとの自主学習時間調査、迅速な結果提示。学年、教科による指導。 ・全教員による継続的な取組 学習させる、課題は必ず提出させる等。 ・教科会(月2回)、(教務部主導)教科主任会定例開催。
学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学力スタンダードを活用した教科マネジメントの徹底ー到達目標の明確化と達成状況の分析ー。 ・主体的・対話的で深い学び(「アクティブ・ラーニング」)の視点からの学習過程の改善。 ・英語教育の改善・充実ーJET、ALTの活用等ー。 ・土曜講習、長期休業日の講習等の充実。
系統的なキャリア教育の推進 生徒一人一人に応じた適切な進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部 学年、教科との連携強化。 ・学年 三者面談の実施、保護者との連携強化。 ・不登校・中途退学防止 相談体制の強化。 ・生徒一人一人の情報(学習・生活・進路希望等)の共有化 拡大学年會、成績処理ファイルの活用等。 ・基礎的・汎用的能力の育成 読書活動の推進、言語活動の充実、小論文、志望理由書指導等。 ・看護体験、保育園実習等の継続。
部活動のより一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の充実・振興。 ・部活動加入率向上、 ・体力の更なる向上。
健康・安全、社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・校内美化 美化委員による点検・評価、取組のよいクラスを顕彰。 ・交通安全指導 特に自転車の乗り方指導の徹底。 ・防災教育の継続・充実 防災活動支援隊の活動の充実。被災地視

	<p>察、被災地との交流等。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携の充実・強化 例) 千川の杜、保育園等との連携
組織的な学校運営の強化・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・企画調整会議 分掌・学年を超え、学校改革の戦略を検討する。 ・主幹会議 方策の検討、企画調整会議に提案。主幹教諭6名の連携・協力体制構築、学校改革の牽引。
募集・広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動の充実(きめ細やかな指導) ・全校体制の強化(夏季休業日中の学校案内、北区進路フェア等外部説明会参加、塾・中学校訪問)。 ・入試対策講座、部活動体験、上級学校訪問対応等。
教育環境の改善・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎移転を見据え、改築委員会及び移転委員会において、転居の準備を行う。
計画的、組織的な人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・OJT、校内研修の充実 ・教員の授業力の向上 授業見合おう月間、この授業を見よう等。